

【超有害】〇〇製の電気ケトルは捨てて今すぐコレに買い替えてください

【冒頭の煽り】

1

最近ではお湯を沸かすのはヤカンではなく、ほとんど電気ケトルでお湯を沸かしている人がほとんどではないでしょうか？

2

お洒落なテレビCMなどでも良く見かけ、今やたくさんのご家庭で使われている「プラスチック製の電気ケトル」ですが、保温機能付き電気ポットを使うほど、しょっちゅうお茶は飲まないし、長時間保温しておくのは電気代がもったいないなあ・・と思う方には、アツという間に必要な量だけ沸かせて、しかも安価な「電気ケトル」って本当に便利だと思います。

でも、あなたも一度こんな風に思った事はありませんか？

3

- なんだか、かすかにプラスチックの溶けたような味や匂いがする・・
- そもそもプラスチックで出来た容器で水を沸騰なんかさせて大丈夫なんだろうか・・？

そんな疑問から、プラスチック製の電気ケトルの有害性と安全性について、調べてみました。

【挨拶】

どうもみなさんこんにちは！こはくです！

今日は、電気ケトルの有害性について考えてみました。

この当たり前のように使っている電気ケトルですが、色々調べてみると、色んな危険性があることがわかってきましたので、みなさんに緊急でシェアしていきたいと思います。

今日は食品添加物とは少しテーマが異なりますが、この動画を見ている方はとても健康意識が高い方がほとんどだと思いますが、以外に盲点で電気ケトルを当たり前に使用している方も多いと思います。

特に赤ちゃんに与える粉ミルクを溶かす時にお湯を電気ケトルで沸かしている親御さんや、まだ成長期のお子さんが入る方は、要注意です！

動画の最後では、安心な素材を使った電気ケトルやお湯を沸かす方法を教えますので、是非最後までお付き合いください。

そしてこのチャンネルでは、このような無添加情報を週一回のペースで投稿していますので、最新情報を見逃したくない方は、是非チャンネル登録の方とその隣のベルマークの通知も宜しくお願い致します！

それでは安心して健康的な生活を目指していきましょう！

【本題】

4

まず電気ケトルとは、電気の力で瞬時にお湯を沸かすものですが、ガスなどの火を使わないので、火の消し忘れなどで火災などのリスクがないため、ここ10年程で一気に普及しました。

価格も数千円で購入できて、少ない容量であれば瞬時のお湯を沸かせるので、かなり便利な代物なのですが、その「安くて便利」という言葉の裏には、危険が結構潜んでいるのです。

5

まず一般的に売られている電気ケトルのほとんどが「プラスチック」で出来ています。

もちろんそれでお湯を沸かすので耐熱にはなっていますが、そもそもプラスチックでお湯を沸かすという発想に僕はかなり疑問を感じています。

6

その過程で懸念されているのが、「BPA」という化学物質ですが、BPAとは、プラスチックの合成時に使われる という有機化合物のことです。

この物質は、腎臓や肝臓を傷つけ、「発がん性」や「遺伝子を変位させる」可能性が指摘されています。

7

25年ほど前に環境ホルモン問題が注目された際に、給食にも多く使用されていたポリカーボネート製の食器が、食洗機のお湯や、熱い味噌汁などを入れることで、容器から「BPA」溶け出している事が判明した為、多くの自治体が給食の食器をプラスチック食器から陶器など素材の食器に変更したという非常事態がおきました。

8

最近のプラスチック容器や電気ケトルは、ほとんどBPAが溶け出すことがないと言われており、微量に摂取してもただちに人体に影響はないと専門家の方は宣言されておりますが、実際に「BPA」が原因で、ガンや遺伝子変異が起きたとしても、プラスチックが原因と特定するのは不可能なことなので、鵜呑みに信じるのは危ないと感じています。

9

とくにプラスチック製品の環境ホルモン問題が大事になる前の、プラスチック容器やケトルなどは、有害な「BPA」が大量に溶け出している可能性が高いので、一度ご自宅の食器なども見直してください。

10

そしてもう1つの危険性ですが、「マイクロプラスチック」

マイクロプラスチックとは直径5ミリメートル以下の小さなプラスチックの粒子のことをいいます。

11

電気ケトルに使用されているプラスチックはもちろん耐熱性のある素材ではありますが、そもそものプラスチックという素材の特徴上、金属や陶器に比べて非常に柔らかく熱に弱くて傷つきやすい素材なのです。

12

なので使用するたびにケトル内側のプラスチックは少しずつ溶け出したり剥がれたりして「マイクロプラスチック」となり、お湯に紛れ込んでいるということが研究で分かっているんだそうです。

13

これはペットボトルの水を炎天下で保管した実験ですが、なんとその数、1リットルの水に対して、3万個ものマイクロプラスチックが溶け出しているという実験報告もあるそうです。

14

この溶け出したり削られたりして、目に見えないほど細かい粒子のなった微小なマイクロプラスチックは、様々なフィルターをくぐり抜けてしまう為、川や海洋に流れ出て拡散し続け、動物やプランクトン、それを食べる魚、などの食物連鎖により、回り回って私たち人間の身体に蓄積することで健康への影響も懸念されています。

どうですか？ここまで知ってしまうと、普段何気なく使っている電気ケトルでも本当に怖くなります。

15

例えほんの微量とはいえ、毎日使うものなので、少しずつ蓄積していつているのかと考えると、本当に心配です。

16

逆に、すぐに何らかの不調や症状がでるのなら、対処も早くできますが、日々少しずつの積み重ねから、気がつけば、健康に大きな被害を受けていたということになれば、もう取り返しがつきません。

最近では、安くてお洒落な耐熱性のプラスチック食器などもよく見かけるようになり、種類も豊富で、便利な物もたくさんあります。

17

でも、いくら耐熱性のもので電子レンジOK、食洗機OKの表示の熱に強いプラスチックでも、いざ電子レンジで使用したら、ドロドロに変形してしまったり、あるいは焦げて穴が開いてしまった！という経験はありませんか？

なので耐熱仕様の表示を全て鵜呑みにするのも、よくないと思っています。
そもそもプラスチックはどれだけ耐熱性があっても火に掛ければ簡単に溶けてしまいます。

18

プラスチックを燃やすと超有害な「ダイオキシン」や「塩素ガス」などが発生することは有名な話なので、そんな石油と化学薬品で出来た、人工的な素材でお湯を沸かすこと自体が、怪しすぎではないでしょうか？

20

僕も、今までプラスチック容器が溶けて変形したり穴が空いたり...という経験をしてしまうと、やはり疑いを持ってしまい、色々な文献を読んで調べてみましたが、たいていは、普段の生活で使用する程度では健康の影響はない...という結論が書かれています。

しかし、これは個人的には、にわかには信じがたい気持ちになります。

21

普段の生活レベルでは問題ない...なら逆を考えると、ある程度を超えたら、やっぱり健康に問題が出てくるんですよね？ということになります。

健康被害の心配が全くのゼロでは無いのなら、自分でゼロの環境を作るしかないので、やはり避けられる事は避けていきたいものですね。

22

実際に、健康にも気をつけている健康意識が高い人たちは、このようなプラスチック製の電気ケトルなど一切使っていないそうです。

23

もちろん僕自身も昔は何も考えずに安物のプラスチック製の電気ケトルでガンガンお湯を沸かしていましたが、いまでは全て捨てました。

では、今流行りのプラスチック製の電気ケトルがダメなら、みんなは何を使っているの？何を使えば良いの？そう思いますよね？

実は、安心して使える物には、結構たくさんあるので、これから紹介していきたいと思います。

【解決策】

24

まずプラスチックという素材でお湯を沸かすという行動を避けなければなりませんので、素材から見直す必要がありますよね？

そうなれば陶器性のヤカンや、鉄で出来た鉄瓶(てつびん)などの素材で、ガスでお湯を沸かせば安心だと思いますが、やはり電気ケトルの便利さは、辞められないのが本音です。

25

なので僕が実際の愛用していてオススメしたいのは、「ガラス製の電気ケトル」です。

これはガラス製なので見た目がおしゃれですが、デメリットはプラスチック製に比べて、重たくて、机の角などに誤ってぶつけると割れやすいのがネックです。僕も過去に一度、ガラス製の電気ケトルを落として割ってしまったことがあります。

そして価格がプラスチック製に比べて倍くらいしますので、買い換えるのには結構勇気が必要かもしれません。

でもその重たい・割れやすい・高いのデメリットと比べても、今までの歴史上、ガラスという素材の信頼性、安全性が確保されているので、使わない手はありません。

26

ちなみに僕が愛用して皆さんのオススメしたい電気ケトルは、ハゴオギ (HAGOOGI)というメーカーの電気ケトルです。

この電気ケトルは「高硼珪酸(こうほうけいさん)ガラス」という素材を仕様していて、一般のガラスよりも耐熱性が高く溶融温度が860度以上なので、お湯を沸かした程度では何も溶け出しません。

そして電熱部に使用されている金属は「SUS304」というステンレス素材で、これは水筒や食器や医療機器などに広く使われている金属でこちらも安全製が高い素材です。

そして「PSE認証 日本食品安全認証済」という認証も取得している商品なので、僕はこの電気ケトルを毎日愛用しています。

価格はプラスチック製であれば1000円台で買えますが、このガラス製の電気ケトルは3000円以上して少々お高いですが、個人的にはかなりオススメです。

ちなみにサイズ、容量は「1.0L」「1.2L」の二種類がありますが、僕は両方買いましたが「1.2L」がオススメです！

このガラス製の電気ケトルに興味のある方は、この動画の説明欄とコメント欄に詳細リンクを貼っておきますので、自分で使ったり、大切な方のプレゼントなどにしてみてもいいのではないでしょうか？

【締め】

はい！どうですか？

こうやってみると結局昔から身近にあるものがほとんどで、あ〜なるほど！そうか！と思いますよね。

それぞれにメリット、デメリットがあるので是非、あなたのご家庭にあったものをご検討ください。

これで、明日から毎日、安心して安全なティータイムを迎えることができますね！

プラスチック製の電気ケトルに日ごろから、ちょっとした疑問や不安をもっていたあなた！
まったくノーガードだったあなたも『知る』ことで、身の回りにある不安を取り除き、ご自身やご家族など大切な人の健康を守るために、その「プラスチック製電気ケトル」をガラス製に早急に変えてみてはいかがでしょうか？

そして大切な人にも、是非教えてあげてください。

最後に公式 line では youtube では話きれない僕自身が実践している無添加健康生活を初心者でも実践できるレベルまでゼロから教えていく予定ですのでぜひ今のうちに友達登録しておいてください

そしてこの動画が参考になったと思った方は高評価とチャンネル登録もよろしくお願いしますコメントもどしどしお待ちしております

それではまた次回の動画でお会いしましょう